

会 議 録

会 議 名	第1回 第6次嵐山町総合振興計画審議会 及び 第1回第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会					
開 催 日 時	令和2年9月23日（水）		開 会	13時30分		
			閉 会	15時50分		
開 催 場 所	嵐山町役場 204・205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会委員の委嘱 3 町長あいさつ 4 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会 委員の紹介 5 総合振興計画審議会及び総合戦略策定委員会 会長、副会長の選出 6 議事録署名人の指定 7 総合振興計画の諮問 8 <第1部>第6次嵐山町総合振興計画審議会 議 事 (1) 総合振興計画 骨子案 (2) 策定スケジュールについて (3) その他 9 <第2部>第2期嵐山町総合戦略策定委員会 議 事 (1) 総合戦略策定方針案 (2) その他 10 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数	1人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	権田 活一	出席	副会長	高坂 英夫	出席
	委 員	嶋本 佳則	出席	委 員	小澤 秀	出席
	委 員	吉野 敦	出席	委 員	荒井 忠正	出席
	委 員	関根 盛敏	出席	委 員	青木 裕子	出席
	委 員	宮本 紀子	出席	委 員	田中 操	出席

	委 員	荒神 文彦	出席	委 員	久保田 尚	欠席
	委 員	石川 博幸	出席	委 員	佐藤 輝武	出席
	委 員	山口 聡	出席	委 員	鹿倉 貞二	欠席
	委 員	武城 文明	出席	委 員		
事 務 局 (地域支援課)	山岸課長			青木副課長		
	藤野主席主査			田邊主事		

次 第	顛 末
1 開 会	山岸地域支援課長
2 委員の委嘱	机上配布による委嘱状交付
3 町長あいさつ	<p>(佐久間町長)</p> <p>・第6代嵐山町長を9月9日より拝命した佐久間孝光です。本会議は第6次総合振興計画並びに総合戦略を策定する大変重要な会議であり、この計画は行政を総合的かつ計画的に進めるための指針になるもの。一人ひとりの経験に基づいた忌憚のないご意見を頂戴したい。また、今後嵐山町がさらにすばらしい町に発展するような計画の策定をお願いしたい。</p>
4 委員の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局進行で各委員による自己紹介 ・事務局自己紹介、コンサルタントの紹介
5 会長、副会長の選出	<p>(山岸課長)</p> <p>・総合振興計画審議会及び総合戦略の2つの計画は関連している部分もあることから会長及び副会長は同じ方をお願いしたい。 <異議なし></p> <p>■会長の選出</p> <p>(佐久間町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出について意見を求める。 <p>(荒井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局案でお願いしたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前計画の策定の際は区長会長に会長をお願いしていた。また、総合戦略検証委員会においても区長会長の権田委員にお願いしているため、事務局案としては権田委員にお願いしたい。 <p>(佐久間町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権田委員にお願いしたいと思うがいかがか。 <異議なしで承認、権田活一委員が会長に選出> <p>■副会長の選出</p> <p>(佐久間町長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選出について意見を求める。 <意見なし> ・事務局案はあるか。

	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前計画の策定の際は商工会会長に会長をお願いしていた。また、総合戦略検証委員会においても商工会会長の高坂委員にお願いしているため、事務局案としては高坂委員にお願いしたい。 <p><異議なしで承認、高坂英夫委員が副会長に選出></p> <p>■会長、副会長あいさつ</p> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長会長の権田と申します。本会議は皆様方の貴重なご意見をいただき進めたいと思う。どうぞよろしくお願い致します。 <p>(高坂副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご推薦ありがとうございます。権田会長を補佐して進めていきたいと思う。どうぞよろしくお願い致します。
6 議事録の署名人	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、今回会議録署名委員については嶋本佳則委員、小澤秀委員にお願いしたい旨を説明。了承された。
7 諮問	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久間町長より権田会長へ諮問。 <p><佐久間町長公務により退席></p>
8 議 事 (1) 総合振興計画 骨子案	<p><第1部>第6次嵐山町総合振興計画審議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権田会長が議長となり、議事進行を行う。 <p>■第1章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、第1章 嵐山町総合振興計画 策定方針について説明。 <p>(嶋本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.12のアンケートの住みよさについて、回答者の年代や割合がわかれば教えていただきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答者は40～70代が多く、特に70代が多い。住みよさは40代までが約7割、それ以上になるともう少し高い割合となる。高齢者になるほど今後も住み続けたいと考えている方が多い。 <p>(宮本委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1章の策定方針は全てに関わってくる。これが中心となり展開されていく。多分野の有識者が集まっているので積極的にご意見をいただきたい。 ・例えば、P.2の策定方針に「文教都市」のような言葉を入れてはどうか。現在も心の優しさや、ともに育つというような柔らかい言葉の感覚を感じ取れるが、10年間の計画なので、人々の心を豊かにしていく視点も大切。生涯学習分野が足りない。嵐山の方は趣味に積極的で良い活動をしている。子どもの教育という部分に国際感覚を取り入れ、世界に通じる人づくりを。

(権田会長)

- ・策定方針に関して委員の皆様のご意見をという提案ですが、いかがか。

(武城委員)

- ・総務省のITの方で、嵐山町は10年以上指導している。全国で指導しているが、今は特にテレワークの関係で、色々な場所でWi-Fiが使えるかどうかで人の集まる自治体が選別化されてきている。現状の情報化社会を分析する事が大切。
- ・例えば、アンケートの住みやすさ。年代によって住みやすさのイメージが異なる。若い世代での住みやすさとは何かを分析してはどうか。ITのことは必ず出てくると思う。

(嶋本委員)

- ・若い人がいかにこの町に住みたいか。昔よりは良くなったが、若い人は交通が不便と感じてしまう。働ける環境も整えられると住みやすくなる。勿論、アンケートで回答者の多い高齢者にとっての住みやすさも必要。若い人も住みやすく、住み続けると高齢者にとっても住みやすい町にと定住に繋げられれば。

(小澤委員)

- ・私はアンケートで「ある程度住みよい」と回答した。年齢も70代で嵐山町からも出たことがなく郷土愛を持っているが、確かに世代による住みよさは全く違う。どちらも大事となると幅広い施策展開が必要。
- ・サラリーマンを務めた後に農業を始めた。今の農業従事者の割合は5.5%で、後継者や高齢化問題もあり大変厳しい状況。自分にとっては新鮮でやりがいもあり、今後も続けられると思う。子ども達に嵐山町のものを食べてもらいたいので、農業の良さを発信していただきたい。もっと農業従事者が増え、自給率が上がるような方策をお願いします。

(吉野委員)

- ・観光面ではバーベキュー場。学校橋河原でも7～8割は若い方で嵐山の自然を求めてきている。地元の人も増えているので、観光事業に力を入れ、全国にPRしていくべきである。

(荒井委員)

- ・色々と課題は出てきているが、特に学校教育は重要であり、お金をかけてほしい。
- ・現在働いていない人に仕事を提供する仕組みづくりも大切。農業分野での雇用促進など。

(関根委員)

- ・人口を増やさなければ話にならない。比企地域で人口増は滑川町だけ。学校統合を含めて都市計画を考え、土地を造成して若い世代を呼び込まなければならない。
- ・子どもが根幹。将来を担う子を育てるためには教育に集中してお金をかけるべき。上を育てるのも必要だが、下のボトムアップも大事。住みやすいまちとして教育を謳っていただきたい。

(青木委員)

- ・P.2 の将来ビジョンについて、第1次、第2次は「文化的田園都市」で文化を尊重、第3次は「緑園都市」で自然。第5次では「あふれる笑顔 心の通いあうまち らんざん」である。民生委員として携わっているが、地域の皆が顔見知りで会えば笑顔で挨拶を交わしている。現在はコロナで訪問が出来ず、電話やイヤホン越し。「心の通いあう」というのはどのような方法があるのか考えさせられている。社会が変化していく中、「ともに育むまちづくり」というテーマで行政と信頼関係を持ち、嵐山に住んで良かったと思うまちづくりを進めるのが良いと思う。
- ・P.15のCS分析で最優先改善項目に医療や子育て支援とあるが、子育て支援は充実してきていると感じる。学校統合も進められ、将来に向け良いビジョンを持ち進んでいると思う。

(田中委員)

- ・SNSの活用が重要。古くからの伝統を守ることも大事だが、Youtube等を活用し知名度を上げて欲しい。InstagramやTwitterで検索し、嵐山溪谷に来る方もいる。自然を求める他に、若い人は「インスタ映え」を求めている人も多い。

(荒神委員)

- ・本計画は長期計画であるため、10年後どのように在りたいかという事がこの計画の骨子にふさわしく、十分に検討されたものが記載されていると感じた。企業の立場からすると、指標が不足していると思う。例えば、住みやすさ。どういうものでどうなれば住みやすいかをここで話し合うべき。嵐山には、素晴らしい資産やツールがあるので、どう活用し表現するかがポイント。人口についても、10年後に嵐山に住んでもらうにはどういうサービスを提供するか。滑川町が推進した施策は、特に子育て世代に注目してもらえた。嵐山ではどういう方に住んでもらいたいのか、どうPRするかを話し合えれば良い。

(石川委員)

- ・テレワークやITの話もあるが、自然と人の優しさは嵐山にし

- かないものと非常に感じる。そこをPRする手段を考えるべき。
- ・公立小中一貫校の計画は素晴らしい。ともに学び育みあう環境というのは長く定住する要素を高める。金融機関の立場としては、起業の支援等の土壌をつくるような提案も出来たらと思う。(佐藤委員)
 - ・転勤経験があるが、住んでいる人がどう感じているかが重要。
P.15 意識調査の最優先改善項目を見ると、安心して安全なまちが住みよいまちと感じる。町の強みを生かし、最優先改善項目を改善していくことで、安心して安全なまちづくりができるだろう。(山口委員)
 - ・P.15 は地震・災害時の避難場所等も最優先改善項目となっている。昨年の東松山の台風被害から水害の心配をする人も多いと思うが、嵐山で水害が起きたことはあまりない。安全面を外にPRすれば住みたいと思う方も出てくると思う。
 - ・高齢化の中、路線バスの充実や交通網の整備により、高齢の方も住みやすくなると思う。雇用面では、東武東上線での通勤が多いと思うので、駅までのアクセス確保や駅前の駐車場・駐輪場の整備等が出来れば、駅まで出て仕事に行く人も増えるのではないか。(高坂委員)
 - ・産業面で例えば工場の誘致等からやらないと人口は増えていかない。ITの話もあったが、今は5歳児でもタブレットを使える。商工会でも青年部でオンライン会議を始めていた。周辺の整備が進めば子どもの教育や産業振興にも役立つので、重点的に進め、計画の中にも入れていただきたい。(権田会長)
 - ・P.15 のCS分析の結果を、次の将来像や基本施策、重点プロジェクト等にメリハリをもって反映していただきたい。

■第2章

- ・事務局より、第2章 嵐山町総合振興計画 まちづくりの将来像について説明。(宮本委員)
- ・P.18 商業地について、良い駅だとは思いますが、駅西口を降りても、住みやすいまちという印象はない。住みよいまちづくりの一つとして、10年かけて具体的に考えていかなければならない。(事務局)
- ・駅西口に関しては、現在、ロータリー整備を進めているところ

である。交通面は、都内と比較してしまうと難しいところ。色々ご意見をいただいた中で、重点プロジェクト等で施策として取り組みながら、その中で人口増となれば、需要が出てくるので交通面も充実すると思う。駅前についても同様である。

- ・また、ITについてもご意見をいただいたが、若い方の住みやすさでは重要だと考えている。

(権田会長)

- ・P.17 の令和 12 年の目標人口について、意見はあるか。
<意見なし>

■第3章

- ・事務局より、第3章 嵐山町総合振興計画 重点プロジェクトについて説明。

(宮本委員)

- ・教育部分について、先程の国際感覚についても入れてほしいということと、個性を発揮するとともに「多様性を認める教育」を入れていただきたい。
- ・地域いきいき安心プロジェクトについて、防災・防犯だけではなく、日常を安全に暮らせることが住みよいまちの一つだと思う。その考えを地域で共有できれば良い。

(事務局)

- ・多様性を認める教育についてご指摘ありがとうございます。考え方に取り入れさせていただきたい。
- ・日常の安全というご意見もその通りである。防災関係については、P.15 最優先課題で上がっていたので入れている。ご意見を含めて検討させていただきたい。

(権田会長)

- ・P.21 の具体的な施策は、第4章以降の中身が具体化した時点で入るという考えで良いか。

(事務局)

- ・その通りである。

■第4章

- ・事務局より、嵐山町総合振興計画 施策の体系について説明。

(事務局)

- ・全体的に確定していないものである。体系はこれからまとめていく。たたき台の段階でご意見があればお願いしたい。

<意見なし>

<p>(2) 策定スケジュールについて</p> <p>(3) その他</p>	<p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第6次嵐山町総合振興計画の骨子案については以上である。意見等は計画に反映するので、持ち帰り意見等あればお願いする。 <p>■策定スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、第6次嵐山町総合振興計画及び第2期嵐山町総合戦略策定スケジュール予定について説明。 <p><意見なし></p> <p>■その他</p> <p>なし</p> <p>■会議の公開について</p> <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本会議及び次回以降の会議の公開について、公開で良いか。 <p><異議なしで承認、次回以降の会議は原則公開とする></p>
<p>9 議 事</p> <p>(1) 総合戦略策定方針案</p>	<p><第2部>第2期嵐山町総合戦略について</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き権田会長が議事進行を行う。 <p>■総合戦略策定方針案</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、第2期嵐山町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針について説明。 <p>(小澤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ラベンダー園の計画について、今後の方針はどのように考えているのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在町ではラベンダー園を含め、バーベキュー場やキャンプ場等、町の稼げる事業を一体的に見ていくということで、DMOという地域法人を作る計画がある。そこで今後の方向性について話し合っているところである。 <p>(小澤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町の大きな事業の一つだと思う。最良の結果となるよう努力していただきたい。 <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ラベンダー園はDMOで方向性を検討中ということで、結果が出次第、総合戦略に反映いただきたい。 次回に具体的な事業が出るのか。

<p>(2) その他</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の総合戦略は全てを網羅する形で総合振興計画と重なる部分もあった。今回は戦略の内容に特化して体系を作成しているところ。次回は個別の事業をお示しする。 <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料編についても事前に検証委員の意見をいただいていると思うが、これは反映していると考えて良いか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.6 からの資料編は第1期の総合戦略の検証結果である。昨年度検証を行ったもので、検証委員会の委員の意見と昨年までの実績を掲載している。これらも参考にしながら、第2期総合戦略に組み込んでいきたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補足として、ラベンダー園については、廃止はないだろう。やり方、方向性、規模について再検討する方向で考えている。 <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に何かご意見があれば、後日事務局までお願いする。意見を元に次回の会議に向けて、事務局で整理をお願いしたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。他に何かご意見があれば10月2日までにお願いする。 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、委員報酬等について説明した。
<p>10 閉 会</p>	<p>高坂副会長</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p style="text-align: center;"> 令和2年10月16日 署名委員 <u>嶋本 佳則</u> 令和2年10月16日 署名委員 <u>小澤 秀</u> </p>	